

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

東日本 APM ニュース

第491号 2016. 1 / 5

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
 URL:http://www.ejp.or.jp FAX 03(3541)4324
 発行人 高橋 廣

目 次

2016年 年頭ご挨拶…………… 1
 連合会会長 新年ご挨拶…………… 2
 干支の話題…………… 3

自動運転(案山子)…………… 6
 年賀広告…………… 7

【2016年 年頭ご挨拶】

～ 経営環境の激変からいかに抜け出るか、
 この優勝劣敗が次の100年を決める ～



一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
 会長 大野 泰 昭

新年あけましておめでとうございます。
 皆様には謹んで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 旧年中は、会員の皆様はじめ関係官庁、業界団体さらに多くの皆様には格別なるご支援を賜り誠にありがとうございました。本年も宜しくお願ひ申し上げます。
 関東経済産業局 製造産業課長 梶田昌幸様はじめ課員の皆様には常日頃よりあたたかいご支援

を戴き心よりお礼申し上げます。
 当工業会の重点事業であります能力開発・技術向上の推進におきましては、技能検定委員会の須崎委員長並びに委員の皆様のご努力によりプラスチック成形一級では23名、二級では49名の技能士が誕生しました。
 東日本プラスチック製品工業協同組合(嶋田理事長)におきましても、会員の皆様へ様々な物品斡旋事業を実施してまいりました。

今日は上場企業の稼働力が一段と高まっています。2016年3月期の経常利益は前期に比べて7%程度伸び、2期連続の最高益となる見通しですが、とはいえ上期が約11%増益であるのに対して、下期は約3%の増益にとどまるなど不透明感も強い。足元の収益が鈍っているのは中国など新興国の景気減速に影響されている部分が大いそうです。そうした中でも最高益を更新しているのが自動車メーカーです。
 車が「車」でなくなる日という題名の記事が新聞に出ていました。それによると、日本車メーカーの技術革新が激しさを増しているとのこと。

近い将来、車での移動は自動運転になり、ハンドルは存在しない、モニターには目的地の天候や近くにいる友人の情報が載る。人工知能（AI）が気分や健康状態を検知し、食事のメニューまで提案してくれる。移動するリビングや仕事部屋になるそうです。

歩行者や信号の色を12台のカメラと5台のレーダーで感知する。自動運転は、米ゼネラル・モーター（GM）など海外勢も力を入れているが、日産の役員は「世界のトップ集団にいるという自負がある」と言っています。

リーマン・ショック、東日本大震災、タイ洪水、超円高と危機が連続した数年、日本車メーカーは受

身の経営を強いられました。円安による輸出採算改善、北米での販売増などで今最高益を記録する。次世代技術を追い求めるのは、急速なIT（情報技術）化の進展だけでなく、経営環境の激変から抜け出たことが大きい。ここで優勝劣敗が次の100年を決める、と記者は結んでいます。

我々プラスチック製品製造業も他人事ではありません。

平成28年が我々業界にとりまして良い年になることを信じて、事業経営に邁進していきたいと思えます。以上、新春のご挨拶に代えさせて戴きませぬ。

新年ご挨拶

全日本プラスチック製品工業連合会 会長 川崎 貞藏

～仕事の絶対量の確保を実現するには、個々の企業において技術力を磨き、合理化、省力化投資を推進して、付加価値を新たに創出していく必要あり～



新年明けましておめでとうございます。

皆様に於かれましては、お健やかに新年をお迎えになられましたことお慶び申し上げます。

全日本プラスチック製品工業連合会と致しまして、政府当局、関連業界

並びに連合会会員の皆様方には日頃より何かと絶大なご指導、ご支援、ご協力を賜っておりますこと厚く御礼申し上げますと共に本年も引き続き宜しくお願いを申し上げます。

さて本年は、我々業界にとりグローバル経済化が進展する日本経済の中であって、如何に役割を果たし、生き抜いていくかを真剣に取り組んでいく年と考えております。

昨年の我が国の経済状況を振り返りますと、超金融緩和の継続により為替、証券市場は円安、株高方向に大きく進行し、更に世界的な原油安もあって大企業を中心に企業業績は好調に推移致しました。しかし、一方において、我々業界も含めた中小企業に於いては、円高により海外に流失した仕事の国内回帰の動きは鈍く、仕事の絶対量の不足と円安による原材料価格の高騰に加え人件費の上昇、さらに人材不足も重なり企業業績の好転とは全く言い難い状況にあったのではないかとと思われまふ。また、一般消費の伸びについては円安

の影響もあって輸入品の価格高騰や消費増税等も加わり、期待通りとは言い難い状況に終始したのではないかと考えています。

この様な状況を受けて本年は、我々業界もより適切な対応、対策を考えていかねばなりません。

まず、グローバル経済社会の中で様々な問題も懸念されております。

具体的には、中国経済の減速、米国の利上げによる開発途上国をはじめとする世界的な金融経済の混乱、さらには中東を震源とするテロの脅威の影響が欧米中心に広がることが懸念される所です。

このような中、我々業界にとっては、一部には陽のさす分野もあるかとは思いますが全般的には厳しい状況が続くものと思わねばなりません。

何よりも我々業界が必要とするのは仕事の絶対量の確保であります。仕事の絶対量の確保を実現するには、個々の企業において付加価値の創造が必要であります。技術力を磨き、合理化、省力化投資を推進して付加価値を新たに創出していかねばなりません。

単に大企業の下請けとしての存在だけではなく、仕事の付加価値を高めることによって仕事の造出と絶対量の確保を図り、将来に亘って生き残る道を開拓していかねばなりません。

我々業界としてこの様な気持ちでもって本年も頑張っていく所存でおりますので、宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

干支の話題



1. 2015年『乙未』(「きのと・ひつじ」、音読みで「いつ・び」)を振り返って

2015年は『未』年で、干支では『乙未』(「きのと・ひつじ」、「いつ・び」)でした。

『乙未』の『乙』は、春に草木が上につかえながら、くにかくにやと曲がって芽を出す形を、『未』は木の枝葉が茂っている形を表わし、茂った枝葉を払って見通しをよくしていくために、思い切った改革が求められる年回りを意味していました。2015年はどんな年でしたでしょうか、早速、振り返ってみましょう。

1月：イスラム過激派組織ISILによる日本人殺害予告。横綱白鵬が33回目の幕内優勝を決め、元横綱大鵬の記録を超える。

3月：北陸新幹線開業、上野東京ライン開通。国宝姫路城の天守閣の「平成の大修理」が終わり、一般公開を再開。

5月：箱根山の火山活動が活発になり、噴火警戒レベルが上昇、箱根町の大涌谷周辺の立ち入りを規制。小笠原諸島西方沖を震源とした地震が発生。マグニチュード8.1、震源の深さが682kmと異常震域現象が発生し、気象庁が1885年に地震の観測を開始以来、初めて震度1以上の揺れを47の全都道府県で観測。

6月：選挙権の年齢を20歳以上から18歳以上へと引き下げる公職選挙法改正案が、参議院で可決成立。

7月：羽田圭介の『スクラップ・アンド・ビルド』と又吉直樹の『火花』が153回芥川賞を受賞。

8月：第二次世界大戦から終結70年となる終戦の日を迎える。

9月：安全保障関連法案(集団的自衛権の限定的な行使容認を含む安全保障関連法案)が可決成立。ラグビーW杯イングランド大会で、日本代表が南アフリカに34-32で歴史的な逆転勝利を果たす。

10月：ノーベル医学・生理学賞に大村智氏、ノーベル物理学賞に梶田隆章氏が選出。

11月：三菱航空機が開発する国産初の小型ジェット旅客機「MRJ」が初飛行に成功。国産旅客機では53年ぶりの離陸。日本航空123便墜落事故から30年、阪神淡路大震災・地下鉄サリン事件からは20年となりました。海

外に目を向けると、イスラム過激派組織ISILによる軍事活動が続き、シリア等からの欧州への難民流入問題が発生しました。

2. 2016年は『丙申』(「ひのえ・さる」、音読みで「へい・しん」)

2016年は『申』年で、干支では『丙申』(「ひのえ・さる」、「へい・しん」)に当たります。『丙申』の『丙』は、「一」、「冂」、「入」を合わせた文字で、「一」は陽を表し、陽気が「冂」の中に入ることで、陽が欠けて陰が起ころうとすることを表しています。ものは盛んになりっぱなしのことはありませんし、盛んな時には必ず衰える兆しを含んでいます。一方で、衰えるということはやがてまた盛んになるという未来を含みますから、奢ることも落胆することもないということはこの文字は教えています。

『申』は「日」と「丨」を合わせた文字です。「日」は古い形で見ると、白で、両手です。「丨」は、まっすぐなもの、伸びている状態です。「申」はまっすぐなことで、両手でまとめている形を合わせたものともいい、両手で引っ張ってまっすぐに伸ばしている形ともいいます。一説に「申」は、いなずまの象形で「電(いなずまで、雨と申を合わせた字)」のものであるともいわれます。

それでは、2016年の『丙申』はどのような年になるのでしょうか。

3. 2016年の年回りは

それでは2016年の『丙申』は、どのような年になるのでしょうか。

2016年も社会の仕組みの変化や新しく始まる制度があります。1月に税や社会保障に関する共通番号制度(マイナンバー)が開始されます。3月には北海道新幹線が開業し、4月に電力の完全自由化が予定されています。

公職選挙法の改正により6月19日より18歳以上による投票が始まり、8月11日は新たに制定された祝日「山の日」を初めて迎えます。

海外との関わりで見ると、5月に三重県伊勢志摩で主要国首脳会議(G8サミット)が開かれ、8～9月にかけてリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピックが開催されます。また、11月には米国大統領選挙が行われます。

4. 申(猿)にまつわる話

江戸三大祭の一つに数えられる、「山王まつり」が開かれる山王日枝神社に祀られる神の使いは「猿」と言われています。そのため一般の神社で見られる狛犬ではなく、神猿(まさる)像が安置されています。「猿」は子への愛情が強い性質を持っているので、夫婦円満や安産・子宝のご

利益が期待できるそうです。また、猿(えん)が縁と通じることから、とても縁起が良く、縁結びの神様としても有名です。謂れについては次のように伝わります。

日吉大社の祭神・大山咋神は古事記に、「大山咋神(オオヤマクヒノカミ)、またの名は山末之大主神(ヤマスエノオオヌシノカミ)。この神は、近淡海(チカツオオミ)国の日枝山に座す。また、葛野(カズノ)の松尾に座す。鳴鐘(ナリカブラ)になりませる神なり」とあるように、近江の国(滋賀県)の日枝山(比叡山)に鎮まつたのが最初で、後に松尾に鎮座し、治山・治水・農耕の守護神とされました。大山の主であり、比叡山(天台宗・延暦寺)をはじめ、広く地主神として祀られ崇められています。

この大山咋神の、山の神(山王)という神格と比叡山の猿とが結びついて、猿が山王の神使になったとされています。猿像には2つのタイプがあります。

①「神猿像」～烏帽子をかぶり、正装して御幣・鈴などを持つ

「神猿」と書いて「まさる」と読みます。

「まさる」は「魔が去る」または「勝る」の意で、厄除け・魔除け・守護にご利益があるとされています。

②「子連れ夫婦像」～片方が子猿を抱き、桃などを持つ

猿は繁殖力、分娩の軽さ、子供への愛情の強さなどの性質から夫婦円満・子授け・安産・子育て・家門繁栄にご利益があるとされています。なお、桃を持つ猿像もありますが、桃は邪気を払う力を持ち、不老長寿の得られる食べ物とされています。

5. 申(猿)の雑学

『西遊記』

主人公が猿の孫悟空。石から生まれて仙術を会得した孫悟空が、天界を騒がせ、大暴れするが、釈迦如来におさえられ五行山の下敷きにされる。後の玄奘三蔵(げんじょうさんざう)に助け出され、その供をして天竺への旅の途中、如意棒を武器に、筋斗雲を乗り物に兄弟弟子の猪八戒、沙悟浄と術で困難を乗り越えて、経典をもたらした

『猿蟹合戦』

猿が蟹の持っている握り飯の欲しさから、蟹をだまして柿の種と交換で手に入れる。蟹は猿からもらった柿の種をまいて育てたところ、柿の木が大きくなって柿がいっぱいになった。これを見た猿が柿を一人占めし、木の上から投げつけられた青柿で蟹は死んでしまう。猿に親を殺された蟹の子が石臼、蜂、栗などの力を借りて猿と合戦して猿をやっつけ、仕返しをする。

『猿の腹掛』

担子菌類サルノコシカケ目に属するキノコのうち、硬質で多年生のキノコの総称。立ち木や枯れ木に生え、発汗、利尿などの薬用になる。

『百日紅・猿滑』

ミツハギ科の落葉小高木で、樹皮は滑らかで褐色、8・9月に紅色または白い小花が群がって咲く。樹皮が滑らかで、猿も滑って登れない木の意味からこの名がある。漢名の百日紅は、百日も咲き続けることから付けられた。

『三猿』

3匹の猿が両手でそれぞれ目、耳、口を隠している意匠である。三猿は世界的にも“Three wise monkeys”として知られ、「見ざる、聞かざる、言わざる」という叡智(えいち)の3つの秘密を示している。英語では“see no evil, hear no evil, speak no evil.”という。日本では左甚五郎作と伝わる日光東照宮の三猿が有名。

『高崎山のサル』

大分県大分市。別府湾にのぞむ標高628メートルの山に日本一ともいわれる猿の大群が生息している。

◎サルを楽しく見る5か条

- ①サルを触らないこと
- ②サルを見つめないこと
- ③サルに急に近づいたり、側で騒いだりしないこと
- ④サルをからかわないこと
- ⑤サルに食物を与えないこと

『猿橋』

山梨県大月市。長さ31m、幅3.3mと大きくない木橋ですが、谷が31mと深く橋脚がたてられないため、橋脚を使わずに両岸から張り出した四層の羽根木によって橋を支えるという珍しい構造である。

『猿の惑星』仏、ピエール・ブール著(1963年)

SF小説。米国で制作された同名の映画の原作。

『外国人に人気の観光スポット2015』

順位 場所

1. 伏見稲荷神社(京都府京都市)
2. 広島平和記念資料館(広島県広島市)
3. 厳島神社(広島県廿日市市)
4. 東大寺(奈良県奈良市)
5. 禅林寺永観堂(京都市)
6. 地獄谷野猿公苑(長野県山ノ内町)
7. 高野山奥ノ院(和歌山県高野町)
8. サムライ剣舞センター(京都市)
9. 沖縄美ら海水族館(沖縄県本部町)
10. 箱根彫刻の森美術館(神奈川県箱根町)

6. 申(猿)に関する言葉、ことわざ、慣用語、故事成語

- 猿人：最古の化石人類。アウストラロピテクスの類。
- 猿楽(さるがく)：余興。劇芸。即興の茶番狂言。田楽と並び行われた中世の芸能で、能楽の源流となった。
- 猿賢い：こざかしい。悪賢い。
- 猿轡(さるぐつわ)：声を立てさせないために、口に噛ませて後頭部にくくり付けるもので、手ぬぐいなどを使う。
- 猿戸(さるど)：庭園の入口に作る簡単な木戸。
- 猿袴(さるばかま)：上部がゆるく、下部をつめて縫った労働用の袴。
- 猿豆(さるまめ)：猿のようにまめまめしいこと。
- 猿面冠者(さるめんかじゃ)：木下藤吉郎のニックネーム。
- 猿が仏を笑う：小利口なものが、深い知恵のある人の真の偉大さがわからず嘲り笑うこと。
- 猿が餅：猿が餅を貰うとすぐ食べてしまうことから、得たものをすぐに他人に与えてしまうこと。
- 猿がラッキョウをむく様：無駄な努力をして効果が全く現れないことのとたとえ。猿にラッキョウを与えると、食べる部分を残さずに最後まで全部皮をむいてしまう。幾重にも包んである包装を一枚一枚はがしてゆく様の表現としても使われる。
- 猿に木登り：よく知っていて教える必要のない者に教えることから無駄なことをする例え
- 猿の人真似：猿は人間とよく比較されるだけによく考えもしないで他人の真似をすること。
- 猿も木から落ちる：その道に長じた人でも失敗することがあるたとえ。
- 猿も揉み手：何事も下手に出るのが賢明であるという意のとたとえ。

7. 未年生まれ名鑑

申年生まれの著名人にはどんな人がいるのでしょうか。年代別にあげてみました(敬称略)。

- 1872(明治5)年 田山花袋(作家)、島崎藤村(作家)、樋口一葉(作家)、幣原喜重郎(政治家)
- 1884(明治17)年 永田鉄山(軍人)、山本五十六(軍人)、東条英機(軍人)、竹久夢二(画家)
- 1896(明治29)年 渋沢敬三(銀行家)、宮沢賢治(詩人)、土光敏夫(経営者)、岸信介(政治家)
- 1908(明治41)年 伴淳三郎(俳優)。長谷川一夫(俳優)、菊田一夫(劇作家)、井深大(経営者)、東山魁夷(画家)、ディック・ミネ(歌手)、宮本顕

治(政治家)、松田道雄(小児科医)、沢村貞子(女優)

1920(大正9)年 長谷川町子(漫画家)、山口淑子(女優・政治家)、川上哲治(野球)、西本幸雄(野球)、森光子(女優)、秋山庄太郎(写真家)、原節子(女優)、別当薫(野球)、阿川弘之(作家)

1932(昭和7)年 稲森和夫(経営者)、広岡達朗(野球)、エリザベス=テイラー(女優)、野村沙知代(タレント)、大島渚(映画監督)、有馬稲子(女優)、青島幸男(タレント・政治家)、岸恵子(女優)、小林亜星(作曲家)、石原慎太郎(作家・政治家)、五木寛之(作家)、萬屋錦之介(俳優)、鈴木敏文(経営者)、仲代達矢(俳優)、江藤淳(文芸評論家)、奥田碩(経営者)

1944(昭和19)年 田中真紀子(政治家)、山本寛斎(デザイナー)、高橋英樹(俳優)、草野仁(アナウンサー)、釜本邦茂(サッカー)、中村吉右衛門(俳優)、久米宏(アナウンサー)、中村絃子(ピアノ)、杉良太郎(俳優)、みのもんた(アナウンサー)、田勢康弘(ジャーナリスト)、黒田東彦(日銀総裁)、松平定知(アナウンサー)、舟木一夫(歌手)

1956(昭和31)年 役所広司(俳優)、小堺一機(タレント)、大地真央(女優)、浅田美代子(女優)、野口五郎(歌手)、桑田圭祐(歌手)、竹中直人(俳優)、島田紳助(タレント)、幸田シャーマン(キャスター)、田中康夫(作家)、豊田章男(経営者)、ピョルン=ボルグ(テニス)、西本聖(野球)、瀬古利彦(マラソン)、岡田武史(サッカー)、石毛宏典(野球)、周防正行(映画監督)、具志堅幸司(体操)

1968(昭和43)年 舞の海秀平(相撲)、佐々木主浩(野球)、セリーヌ=ディオン(歌手)、桑田真澄(野球)、金本知憲(野球)、菊池桃子(タレント)、原田雅彦(スキージャンプ)、鈴木京香(女優)、青木定治(料理人)、杉本彩(タレント)、小島奈津子(アナウンサー)、野茂英雄(野球)、つんく♯(プロデューサー)、山崎武司(野球)、勝間和代(経済評論家)、緒方耕市(野球)

1980(昭和55)年 玉木宏(俳優)、萩原智子(水泳)、末續慎吾(陸上)、又吉直樹(タレント・作家)、優香(タレント)、広末涼子(女優)、松坂大輔(野球)、朝青龍明德(相撲)、田臥勇太(バスケットボール)、中村憲剛(サッカー)、小島よしお(タレント)、大野智(タレント)、壇蜜(タレント)、妻夫木聡(俳優)、村田修一(野球)、村主章枝(フィギュアスケート)

1992(平成4)年 ネイマール(サッカー)、大砂嵐金太郎(相撲)、松山英樹(ゴルフ)、山田哲人(野球)、成海璃子(女優)、峯岸みなみ(タレント)、指原莉乃(タレント)

最後に、2016年申年が皆様にとって明るく実りがある年になりますよう、心よりお祈り申し上げます

自動運転

2015年10月29日開催 東京モーターショーでは2020年に向けて実用化を目指す自動運転関連技術が目玉となり、今年は「自動運転元年」を印象づけた。

一方検索最大手Google社の自動運転開発は2009年に始まり、2012年ネバダ州での公道運転免許を皮切りに試験走行距離は昨年70万マイルを超え、2017年ごろの実用化を目指していると言われる。

1. 自動運転の目的：

日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)では「ヒトやモノが安全・快適に移動することのできる社会」の実現としている。具体的には、(1)CO₂の低減・燃費の向上、(2)渋滞の低減、(3)ヒューマンエラー・健康障害による事故の低減、(4)夜間・降雨・降雪等視界不良時の安全運転、(5)運転負荷の低減による快適性の向上を目指している。

2. 自動運転のレベル分け：

国交省が2013年10月オートパイロット検討会で取りまとめたレベル分けは以下の4段階である。

- ①レベル1＝加速、操舵、制動のいずれかの操作を自動車が行う運転(運転支援)。具体例として、オートクルーズコントロール、衝突防止用自動ブレーキ、縦列駐車や車庫入れ時のハンドル操作の自動化等で0あり、既に商品化済みである。
- ②レベル2＝加速、操舵、制動のうち複数の操作を一度に自動車が行う運転(運転支援)。具体例として、走行車線を自動検知して車線を保持したり、前方車両自動追従、走行レーンを変えたりする機能等であり、2016年以降市場が立ち上がると予想される。
- ③レベル3＝加速、操舵、制動を全て自動車が行う運転(緊急時対応はドライバー)。現在試験走行中のGoogleの自動運転が該当するとされ、2020年には実用化すべく日米欧で開発中である。
- ④レベル4＝加速、操舵、制動を全て自動車が行う運転(緊急時対応も自動車)。周辺監視、運転操作を全てシステムに委ね、目的地を入力すれば、自動的に目的地に到達する完全自律走行車で、2030年までに一部の国や地域で登場すると予想される。

3. 自動運転(レベル3以上)に必要な技術開発：

- ①センサの高度化：
 - * 歩行者、2輪車、障害物、落下物、等の検出、・・・
 - 即ち物体形状の識別と移動速度ベクトルの検出、
 - * 交通標識・信号の認識・・・特に夜間、悪天候、
 - * 車線・走行路の認識・・・全天候・不明瞭な白線・複雑な交差点内走行路の判別、
- ②認識・判断の高度化(人工知能)：
 - ローカルダイナミックマッピング技術(周辺環境認識)、走行環境認識のモデル化、危険事象のデータベース化、走行路軌跡生成技術、非自動運転車運転手合図・交通整理警察官指示・歩行者合図等の認識、
- ③測位技術の高度化・高信頼性化：
 - 準天頂衛星利用技術、3Dデジタル地図作成技術、

- 3軸ジャイロとデータ処理技術、
- ④外部情報との連携強化：
 - 路車間通信、車車間通信、人車間通信、クラウド連携、セキュリティの高度化、
- ⑤システムの安全性・信頼性向上：
 - 制御ユニットのフェイルセーフ化技術、冗長化技術、
- ⑥運転者－車インターフェース、(居眠り・疲労度検知を含む)ドライブレコーダの高度化技術、等の技術開発が必要である。(注)

4. 自動運転の効果：

- ①渋滞緩和・解消、②交通事故削減、③環境負荷低減、④高齢者等移動支援、⑤運転の快適性向上、

5. 自動運転の課題：

- ①技術・安全面：・・・上記3項諸技術の開発、
- ②法制面：自動運転車が関係する交通事故発生時の運転者と車等製造業者と支援システムとの責任の明確化、・・・現行法との関係整理ならびに法整備、
- ③社会受容面：歩行者・一般車輦運転者からの理解、

6. 関連市場規模：

2014年自動車の世界市場規模は約8,720万台、約1兆7,000万米ドルであった。2035年には1億5,000万台、約3兆米ドル 350兆円に達すると見られる。

うち(レベル4)自動運転車が10%、1,500万台を占めると仮定すると、約5,000億米ドル 60兆円の市場規模となる。更に、高度運転支援に関わる各種システム、車載機器、ソフトウェアを含めると、総計、約6,500億米ドル 78兆円規模になると予想される。

(astavision 予測)

また、ボストン コンサルティング グループは、2035年に、自動運転車が新車販売台数1億2,000万台に占める割合はレベル3以下の自動運転車が1,800万台(15%)、レベル4の自動運転車が1,200万台(10%)、合計3,000万台(25%)と予測している。

7. 自動運転がもたらす将来：

大都市において、各個人や企業・各種団体が車を個々に所有する事は、日常的な渋滞の発生、駐車スペースの必要性等から道路を含む限られた国土の有効利用上非効率な面が目立つ。将来運行する車の大半が自律自動運転車の時代が到来すると、車は共同所有とし、必要な時にシェアカーや自動運転タクシーをスマホで呼び出し、目的地で乗り捨てる運用も想定される。その場合、車の稼働率が上がることで車によるモビリティの便益は確保でき、車の必要台数は減少、量販型モデルに依存した自動車産業は変革を迫られかねない。

- (注) 須田義大、青木啓二、
自動運転技術の開発動向と技術課題
情報管理 vol.57 no.11 2015
(案山子)



年頭にあたり謹んで皆様の
ご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます

平成二十八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

<p>電話 千 106 002 〇三(五八五五)三五六〇一</p> <p>旭モールディング株式会社 代表取締役 福田晴通</p>	<p>G 浅間合成株式会社</p> <p>代表取締役 嶋田修二</p> <p>〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1 TEL 0555-73-2831 FAX 0555-73-2832 URL: http://www.asama-gosei.jp P-E-mail: shimach@poplar.ocn.ne.jp</p>	<p>明日の情報システムを想像する ASCOT</p> <p>株式会社 アスコット</p> <p>代表取締役 森井義雄</p> <p>本社 〒540-0021 大阪市中央区大手通1-4-10 大手町フタバビル6F TEL (06) 6944-9211 FAX (06) 6944-3233 東京支店 〒101-8014 東京都千代田区墨田町2-9-6 徳力本館ビル6F TEL (03) 5209-0123 FAX (03) 5209-0121</p>
<p>AFT 株式会社 アフター</p> <p>代表取締役社長 実方京一郎</p> <p>〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-3-11 パシオン恵比寿504 TEL 03 (6303) 3748 FAX 03 (6303) 3746 URL: http://www.aft.co.jp E-mail: info@aft.co.jp</p>	<p>電話 千 106 002 〇三(三八九二)五七二(代)</p> <p>齋藤森作</p> <p>代表取締役 株式会社 荒川樹脂</p>	<p>設立七十二年 積み重ねた歴史・最新の技術</p> <p>株式会社 イガラシコーカ</p> <p>代表取締役社長 佐藤義明</p> <p>本社 〒272-0001 川崎市高津区末根七〇二(三) 電話 〇四(八五〇)一七二七(代)</p>
<p>プラパート</p> <p>株式会社 石黒製作所</p> <p>代表取締役社長 大野泰昭</p> <p>〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9 TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712 URL: http://www.pla-part.com/</p>	<p>代表取締役会長 安達七郎</p> <p>代表取締役社長 安達公佐</p> <p>石田プレス工業株式会社</p> <p>本社 東京都中野区中央一丁目四一 電話 〇三(三五六)一六七五 FAX 〇三(三五六)一六七五</p>	<p>代表取締役社長 野邊弘一郎</p> <p>エンゼル産業株式会社</p> <p>本社 〒130-0001 東京都葛飾区臨海町五丁目一四(三) 電話 〇三(三六七九)一〇〇六〇(代) FAX 〇三(三六七九)一〇〇九一</p>

平成二十八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

<p>enplas 株式会社エンプラス</p> <p>代表取締役社長 横田 大輔</p> <p>〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号 電話 048 (253) 3 1 3 1 (代) http://www.enplas.com</p>	<p>OSK</p> <p>大塚産業株式会社</p> <p>代表取締役社長 原田 裕司</p> <p>〒120-0005 東京都墨田区東駒形1-1-181-2 電話 03 (366) 5 5 6 5 (代) FAX 03 (366) 5 3 2 6 (代)</p>	<p>川澄化学工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 昌谷 良雄</p> <p>〒100-0001 東京都港区港南1-15-11 電話 03 (576) 9 2 6 0 (代)</p>
<p>KAWATA 先端技術とトータルシステムで貢献 株式会社カワタ</p> <p>代表取締役社長 白井 英徳</p> <p>〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-7-6 茅場町スクエアビル6F TEL 03-5645-7880 (代)</p>	<p>KP</p> <p>工藤プラスチック工業株式会社</p> <p>代表取締役 工藤 哲夫</p> <p>〒120-0005 東京都板橋区若木3-1-51-3 電話 03 (393) 6 3 1 1 (代) FAX 03 (393) 6 3 1 1 (代)</p>	<p>融型剤・防錆剤・潤滑剤・洗浄剤の製造販売 KOBEGOSEI 神戸合成株式会社</p> <p>代表取締役社長 宮岡 督修</p> <p>本社:兵庫県小野市匠台10番地 TEL: (0794) 64-7771 FAX: (0794) 64-7772 URL: http://www.kobe-gosei.co.jp</p> <p>BIG FORCE</p>
<p>駒沢化成株式会社</p> <p>代表取締役社長 河野 八朗</p> <p>ISAP</p> <p>本社 〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-11-10 電話 042-775-8770 (代) FAX 042-775-8771 URL: http://www.komazawa.co.jp/ E-mail: honsya@komazawa.co.jp</p>	<p>小松川プラスチック株式会社</p> <p>代表取締役社長 伊東 義也</p> <p>〒120-0005 東京都江戸川区松江5-1-219 電話 03 (368) 7 4 7 2 (代) FAX 03 (368) 6 2 1 6 (代)</p>	<p>埼玉県プラスチック振興会 会長 小松 幹也</p> <p>〒300-0001 埼玉県川口市上青木3-12-28 電話 048 (261) 7 1 5 1 (代)</p>
<p>SG 株式会社 サトーゴーセー</p> <p>代表取締役社長 佐藤 昭</p> <p>本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町1-17-1 Tel: 03-3955-4066 Fax: 03-3955-2081 東松山 〒355-0071 埼玉県松山市大字新郷70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田1-10-51</p>	<p>SK</p> <p>株式会社三光社</p> <p>代表取締役社長 平塚 隆文</p> <p>本社 〒100-0002 東京都台東区柳橋2-1-13 電話 03 (386) 3 5 7 9 (代) FAX 03 (386) 3 5 7 9 (代)</p>	<p>三省物産株式会社</p> <p>代表取締役社長 高嶋 光雄</p> <p>〒100-0001 東京都中央区日本橋室町4-1-11 電話 03 (327) 5 7 2 1 (代)</p>

平成二十八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p> <p>SKK 白石工業株式会社</p> <p>代表取締役会長 白 石 恵 一 代表取締役社長 白 石 創 士</p> <p>〒164-0004 東京都江東区亀戸5-44-8 電 話 (03) 3683-3301 (代) FAX (03) 3683-3305 http://www.shiraishi-kk.co.jp</p>	<p>電話 千 野 04 〇四 〇四 (七 一三 三三 三三) 〇四 七 一〇</p> <p>取 締 役 会 長 曾 我 部 大 代 表 取 締 役 曾 我 部 上</p> <p>Shinjo 株式会 社 新 上</p>	<p>STAR</p> <p>関東支店 支店長 三 浦 基</p> <p>株式会社スター精糖</p> <p>関 東 支 店 〒327-0003 栃木県佐野市大橋町3241 電 話 0283-24-8211 FAX 0283-24-5687</p>
<p>電話 千 野 04 〇四 二 (七 七 四) 八 九 一 一</p> <p>代 表 取 締 役 生 倉 茂</p> <p>セーチヨー工業株式会社</p>	<p>未来を創る 株式会社 ソディック</p> <p>代表取締役社長 金 子 雄 二</p> <p>〒224-8522 横浜市都筑区仲町台3-12-1 TEL: 045-942-3111 (大代) URL www.sodick.co.jp</p>	<p>吸着盤総合メーカー 株式会社 タカブラS.C.J</p> <p>代表取締役 長 高 橋 昇</p> <p>本社 東京都墨田区太平四丁目17番7号 電話 03-3363-2878 FAX 03-3363-5492</p>
<p>電話 千 野 04 〇三 (三 六 七 五) 二 七 三 一</p> <p>代 表 取 締 役 奥 山 英 明</p> <p>拓水工業株式会社</p>	<p>業務用調理機器 株式会社 千葉工業所</p> <p>代表取締役 長 島 勝 敏</p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 ☎047-438-3411 〃 FAX047-438-3413 e-mail:peels@chiba-ind.co.jp URL:http://www.chiba-ind.co.jp</p>	<p>TECHNO テクノ精工株式会社</p> <p>代表取締役社長 野 本 義 三</p> <p>〒270-0113 千葉県流山市駒木台495-5 TEL 04(7155)6055 FAX 04(7155)6662 http://www.technoseiko.com/ E-mail:info@technoseiko.com</p>
<p>TENSHO</p> <p>プラスチックの総合メーカー 天昇電気工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 石 川 忠 彦</p> <p>〒194-0004 東京都町田市鶴岡687-1 天幸ビル17 TEL.042(788)1555 FAX 042(796) 6333 http://www.tensho-plastic.co.jp</p>	<p>TOSHIBA</p> <p>東芝機械株式会社</p> <p>代表取締役社長 飯 村 幸 生</p> <p>〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル4F TEL: 03-3509-0323 FAX: 03-3509-0331</p>	<p>長野県プラスチック工業会 会 長 小 野 勝 彦</p> <p>〒260-0001 長野市中御所一丁目二〇番一 電話 〇二六(二二六)六一五五 FAX 〇二六(二二六)六一五五</p>

平成二十八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

 <p>株式会社 日新化成</p> <p>代表取締役社長 小松 幹也</p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450</p>	<p>日鋼YPK商事株式会社</p> <p>代表取締役社長 早川 保</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー24階 電話 03 (5745) 2131 FAX 03 (5745) 2160 支店：中部・関西 営業所：室蘭・仙台・長野・富山・ 岸和田・江坂・広島・福岡 URL http://www.jsw-nks.co.jp/</p>	 <p>日本プラスチック工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 浅見 好邦</p> <p>本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) さいたま工場 さいたま市見沼区宮ヶ谷塔3-349 〒337-0011 電話 048(683)7281番(代表) http://www.nippla-web.co.jp</p>
 <p>独創技術のコンサルテーション</p> <p>株式会社 日本油機</p> <p>代表取締役 市川 博章 取締役工場長 齋藤 泰史</p> <p>〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺4-2-2 TEL (042) 757-6681 FAX (042) 757-6683 http://nihon-yuki.co.jp info@nihon-yuki.co.jp</p>	<p>電話 026-2651111</p> <p>HARMO 株式会社 ハーモ</p> <p>代表取締役社長 濱 秀明</p> <p>〒265-0821 茨城県稲敷市幸田六六七七 電話 0299-791232</p>	 <p>ニプラプラスチック株式会社</p> <p>代表取締役 池下 龍一郎</p>
 <p>株式会社 フルブラ</p> <p>代表取締役社長 古澤 正弘</p> <p>〒110-0016 東京都台東区台東3-11-6 TEL : 03-3834-0331 FAX : 03-3833-5591 URL : http://www.furupla.co.jp/</p>	<p>電話 03-3790000</p> <p>平和工業株式会社</p> <p>代表取締役 内藤 雅文</p> <p>〒103-0028 東京都中央区八重洲1-8-17 新横町ビル5F TEL:03-6860-3161 FAX:03-6860-3165</p>	 <p>株式会社 ホーライ</p> <p>代表取締役 鈴木 雅之</p> <p>〒550-0001 東大阪市岸和田本通り2-131 電話 06-67812181</p>
 <p>株式会社 松井製作所</p> <p>代表取締役社長 松井 宏信</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎動業ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 http://www.matsui-mfg.co.jp/</p>	<p>mc nac 株式会社 三井化学分析センター</p> <p>代表取締役 三戸 邦郎</p> <p>営業統括部 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-8-17 新横町ビル5F TEL:03-6860-3161 FAX:03-6860-3165</p>	 <p>睦化工株式会社</p> <p>代表取締役社長 古川 亮一</p> <p>〒103-0001 東京都大田区矢口三丁目17番13号 FAX 03-3755-5800 電話 03-3755-5800 http://matsumikako.co.jp</p>

平成二十八年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

 <p>常務取締役 清水 勲</p> <p>ムラテック情報システム株式会社</p> <p>本社 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136 電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307 大宮支店 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1 電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123</p>	<p>プラスチック成形用金型設計・製作</p> <p>明輝の金型</p> <p>株式会社 明輝</p> <p>代表取締役社長 黒柳 告芳</p> <p>〒243-0807 神奈川県厚木市金田800 厚木工場 TEL. 046-224-2251 〒243-0807 神奈川県厚木市金田1030 神奈川工場 TEL. 046-224-1711 〒021-0922 岩手県一関市東台14-67 一関工場 TEL. 0191-26-0775 海外工場 マレーシア・メキシコ・タイ・インドネシア・アメリカ</p>	 <p>明和プラスチック株式会社</p> <p>代表取締役社長 天明 英男</p> <p>■本社 〒144-0046 東京都大田区東六郷1-12-2 TEL (03) 3734-1961 (大代表) FAX (03) 3735-8288 http://www.meiwaplast.co.jp</p> <p>■工場 千葉・北九州・中国(上海)・タイ(アユタヤ)</p> <p>各種異型押出成形</p>
 <p>山下電気株式会社</p> <p>代表取締役社長 山下 慎一郎</p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03) 3740-2401 URL: http://www.yamashita-denki.co.jp</p>	<p>PLASTICS WORLD YAMASO</p> <p>増田 英輔</p> <p>代表取締役社長</p> <p>山宗株式会社 関東事業部</p> <p>東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL.03-5297-7987 FAX.03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/</p>	<p>Beautiful Technology Yushin</p> <p>株式会社ユーシン精機</p> <p>代表取締役社長 小谷 真由美</p> <p>■本社 〒612-8492 京都市伏見区久我本町11-260 電話 075 (933) 9555 FAX 075 (934) 4033 □東京統括営業所 電話 03 (3245) 0800 FAX 03 (3245) 0808 □北関東統括営業所 電話 048 (665) 2921 FAX 048 (655) 2927</p>
 <p>株式会社リーデンス</p> <p>代表取締役社長 肥後 武展</p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北水井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161(代)</p>	<p>東日本プラスチック製品工業協会 共済事業委員会</p> <p>～会員のお役に立つ事業を 推進しています～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種ユニフォーム、安全靴、タオル等幹旋 ○ETCカード事業、廃プラ事業 ○団体医療共済保険、PL保険、団体生命保険 ○ポリマー辞典、保存食、プラスチック手帳 <p>事務局 高橋 (電話 03-3541-4321)</p>	<p>東プラ健保に加入して 福利厚生充実を!</p> <p>東日本プラスチック健康保険組合</p> <p>電話 03-3541-4321 (代)</p> <p>植田 秀一 時田 周明 理事 長 常務 理事</p>
<p>東日本プラスチック製品工業協同組合 ～東日本プラ工業協会と連携して実施 しています～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ETCカード事業 ○各種ユニフォーム・事務服、 タオル等幹旋 ○団体医療共済保険、PL保険、 団体生命保険 ○プラスチック手帳、ポリマー辞典 ○保存食、精米機他 <p>東日本プラスチック製品工業協同組合 代表理事 嶋田 修二 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324</p>	<p>全日本プラスチック製品工業連合会</p> <p>会 長 川 峯 貞 藏 副会長 大 野 泰 昭 副会長 加 藤 豊 副会長 後 藤 鉦一郎 副会長 原 直 宏</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F) 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324 URL http://www.jpplf.gr.jp</p>	

謹 賀 新 年

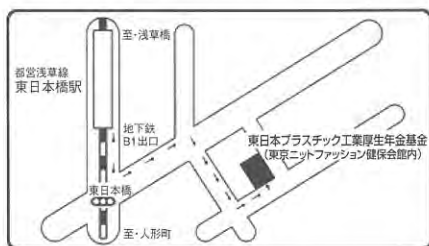
昨年は多大なる御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。本年がプラスチック関連産業に関わる皆様にとってより良い年となりますことを祈念申し上げます。

当基金は東日本プラスチック業界のOBの皆様の老後安定に貢献すべく、持続可能な制度設計へ抜本改訂を行ったうえで年金制度を継続する方針ですので、本年も一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

東日本プラスチック工業厚生年金基金

理事長 宮 越 健
常務理事 栗 城 靖

住所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13
東京ニットファッション健保会館2階
TEL 03-3862-4308 FAX 03-3851-7976
URL <http://www.nenkin-kikin.jp/eplastic/>



明けましておめでとうございます

プラスチック原材料の委託研究・共同研究
小口試作 医療用プラスチック材製造



アルバファインテック株式会社

代表取締役 武 田 久 徳

〒300-2746 茨城県常総市鴻野山1765-1
電話 0297-30-5171 Fax 0297-30-5173
URL <http://alba-ft.com/>